


# 高尾駅南北自由通路整備事業 に関する事業説明会

令和5年（2023年）12月14日

拠点整備部都市整備課

 八王子市

## 本日の内容

1. 高尾駅について
2. 事業の経過
3. 事業概要
4. 当初計画からの変更内容
5. 木造駅舎の再築
6. 今後の予定

# 1. 高尾駅について

明治34（1901）年 浅川駅（現JR高尾駅）開設（北口改札口のみ）

昭和 2（1927）年 JR高尾駅の木造駅舎が完成

昭和39（1964）年 東京方こ線橋建設（オリンピックによる需要増に対応のため）

昭和42（1967）年 京王高尾線開通（南口改札口開設）

現在

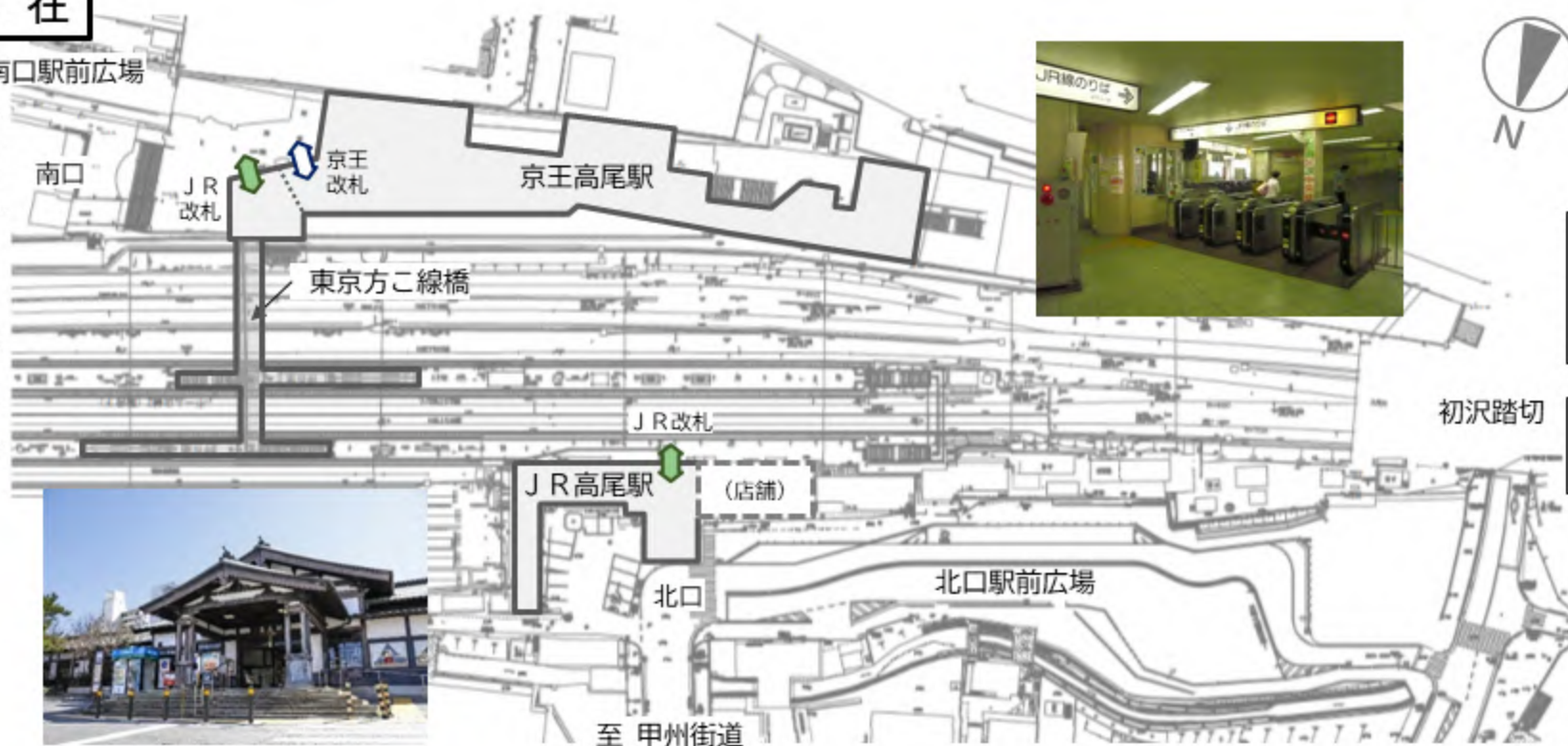
至 南口駅前広場

新宿方

東京方

高尾山口方

甲府方

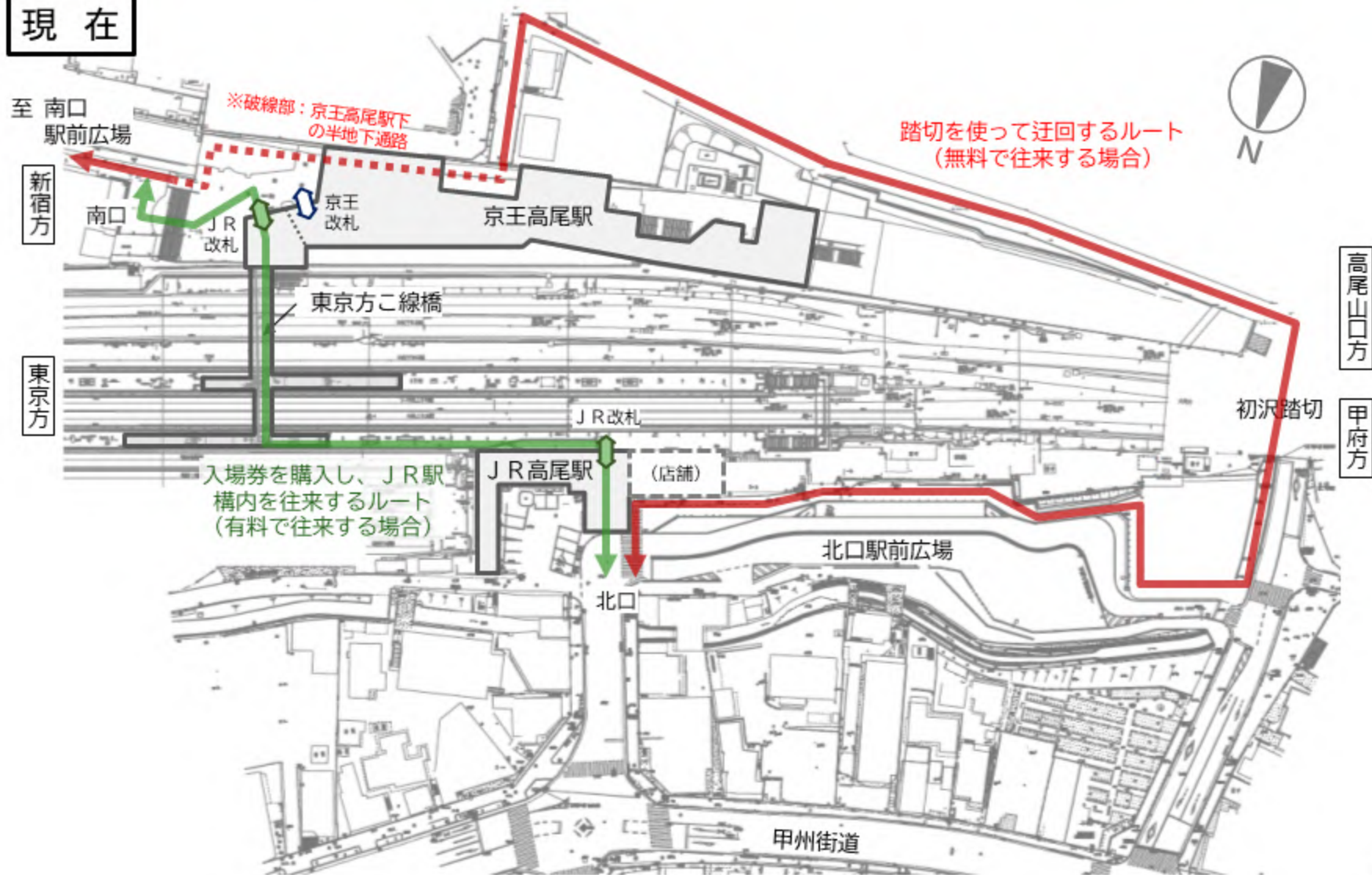


## 2. 事業の経過

平成12年11月	「高尾駅南北自由通路促進委員会」から約46,000名の署名簿を添えた自由通路の整備要望書が市長宛てに提出される。
平成24年度	高尾駅周辺整備基金条例の制定。※平成26年3月までに約22億円積立
平成26年6月	「高尾駅南北自由通路整備事業に関する基本協定」を締結。
平成26～29年度	自由通路と北口駅前広場の設計を実施。
平成28年3月	自由通路と北口駅前広場を都市計画決定。
平成29年10月	事業費の肥大化により市負担額の増加が顕在化。 平成30年度工事着手は延期と判断。
令和元～2年度	駅前広場の歩車道を分離するなど、先行整備を実施。
令和4年12月	施設計画の見直し等について協議が整ったことから、 「高尾駅南北自由通路整備に関する変更基本協定」を締結。
令和5年度～	JR及び京王にて自由通路の設計に着手。

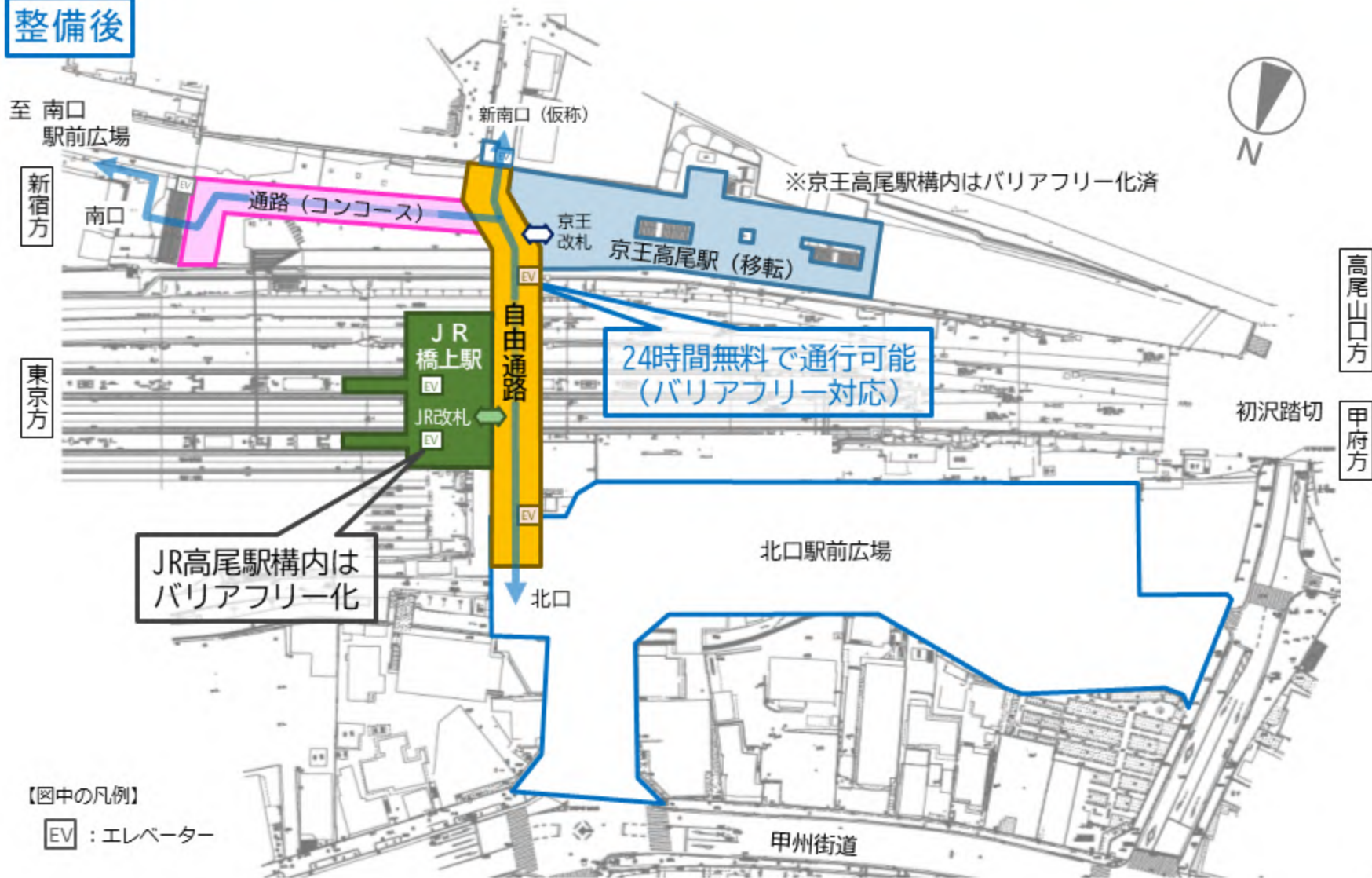
# 3. 事業概要

現在



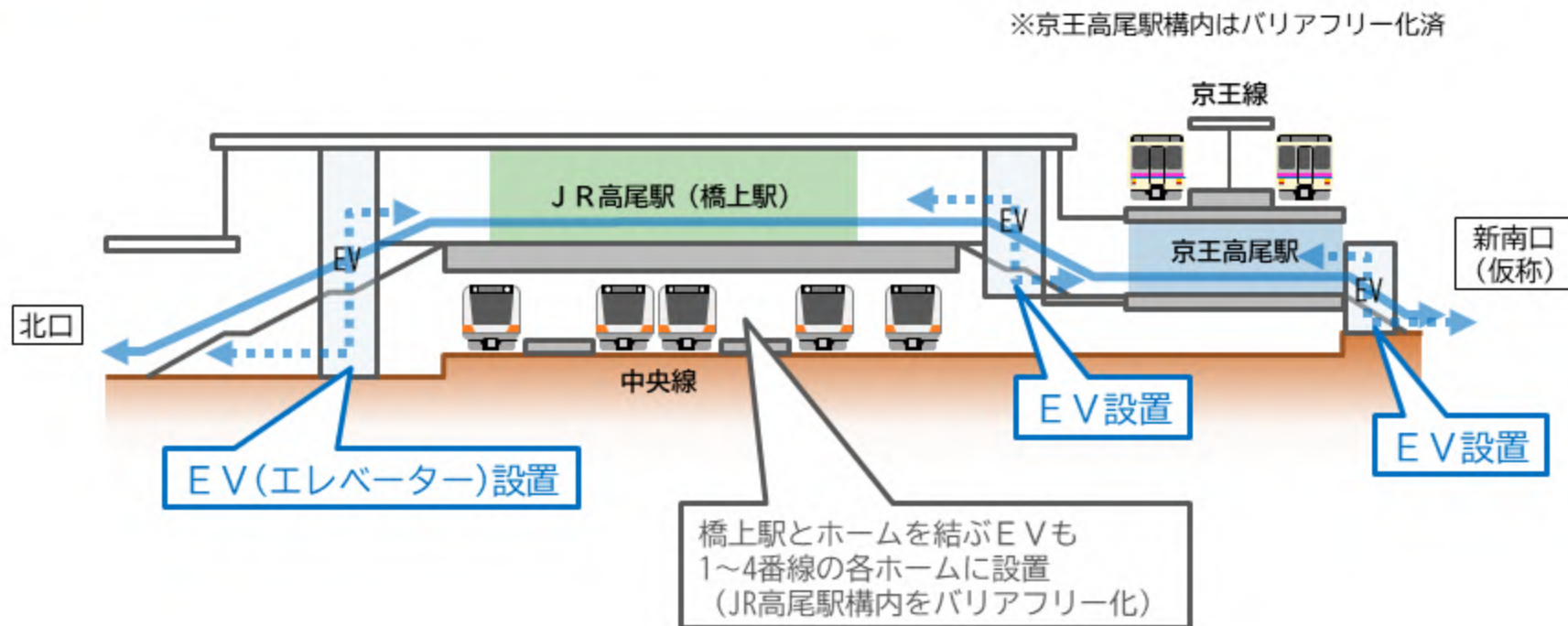
# 3. 事業概要

整備後



### 3. 事業概要

整備後



自由通路 断面イメージ図(南北方向の切断面)

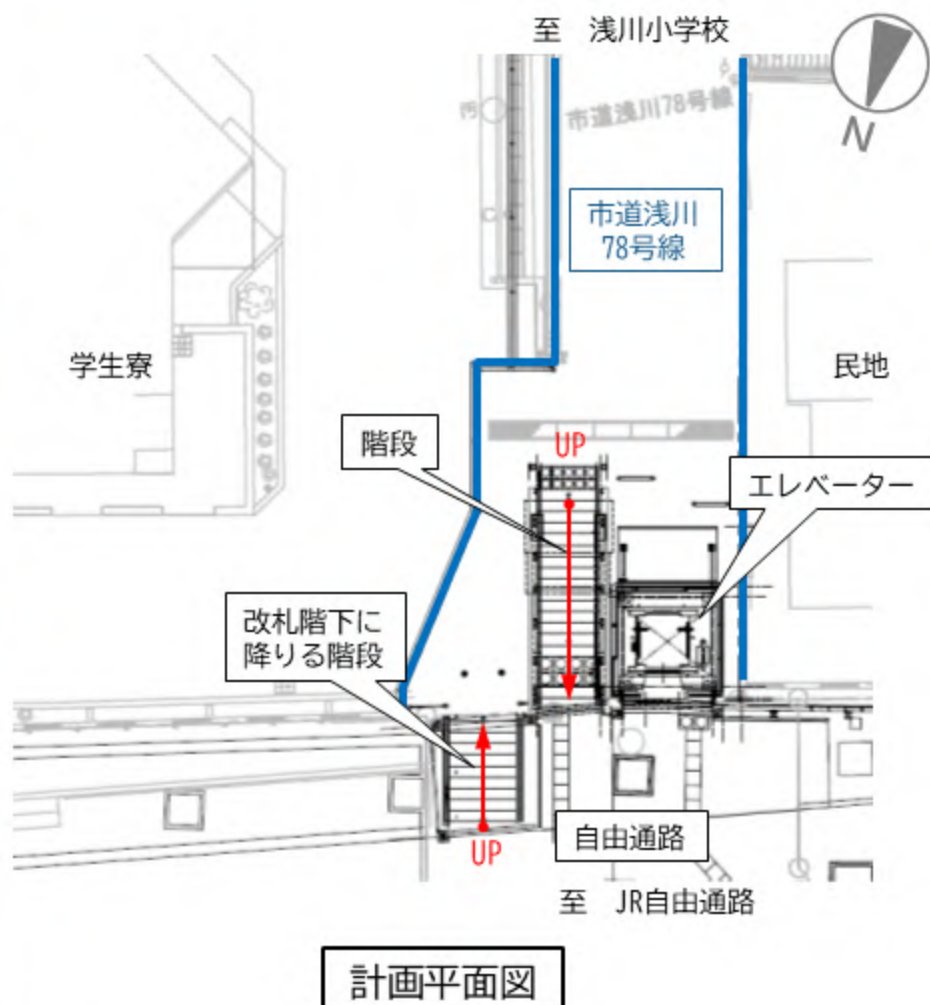
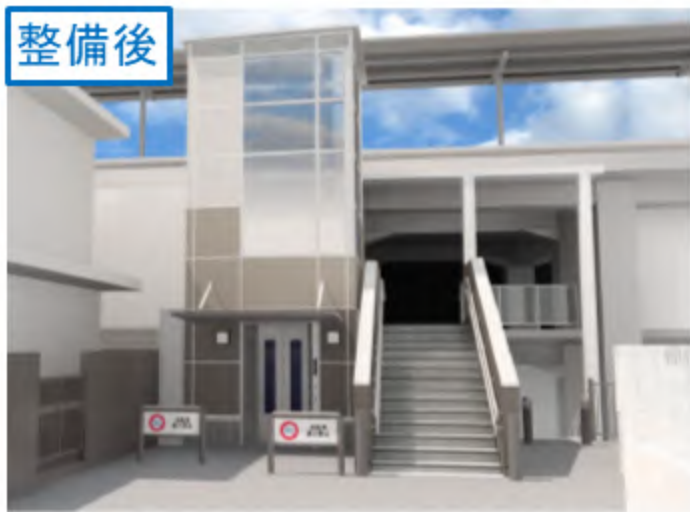
# 3. 事業概要

## ■新南口（仮称）の整備イメージ

現在



整備後

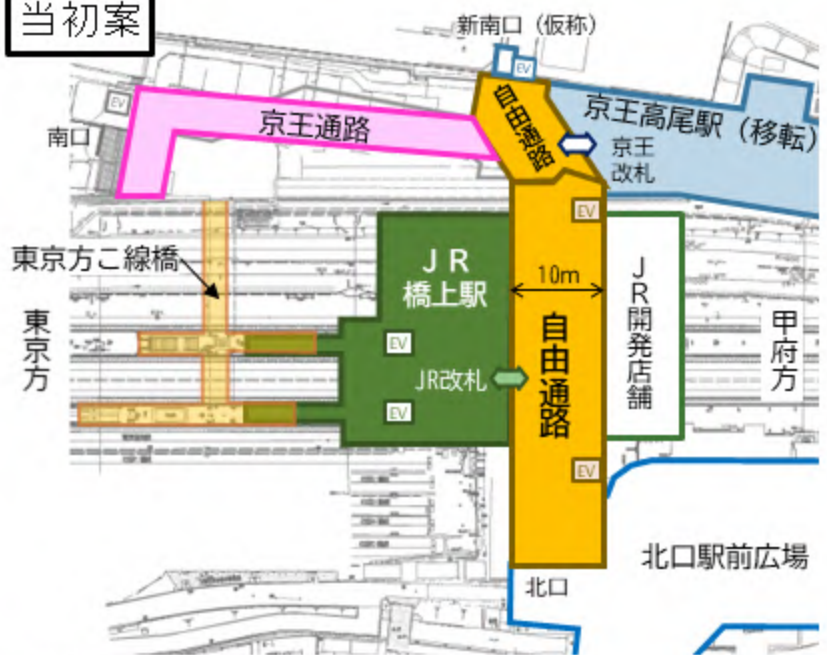


※整備後のイメージ図や計画平面図は平成29年度の計画時点のものです。

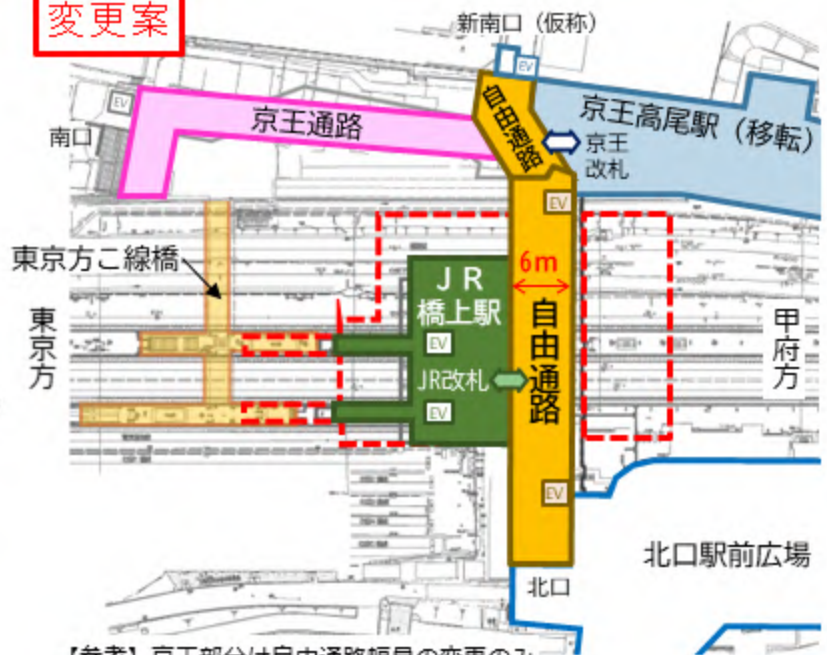


# 4. 当初計画からの変更内容

当初案



変更案



【参考】京王部分は自由通路幅員の変更のみ

■ 大きな変更点

事業名	当初案	変更案
自由通路	幅員10m	幅員6m
橋上駅舎	規模を約4割縮小	
JR開発店舗 (事業外)	あり	なし

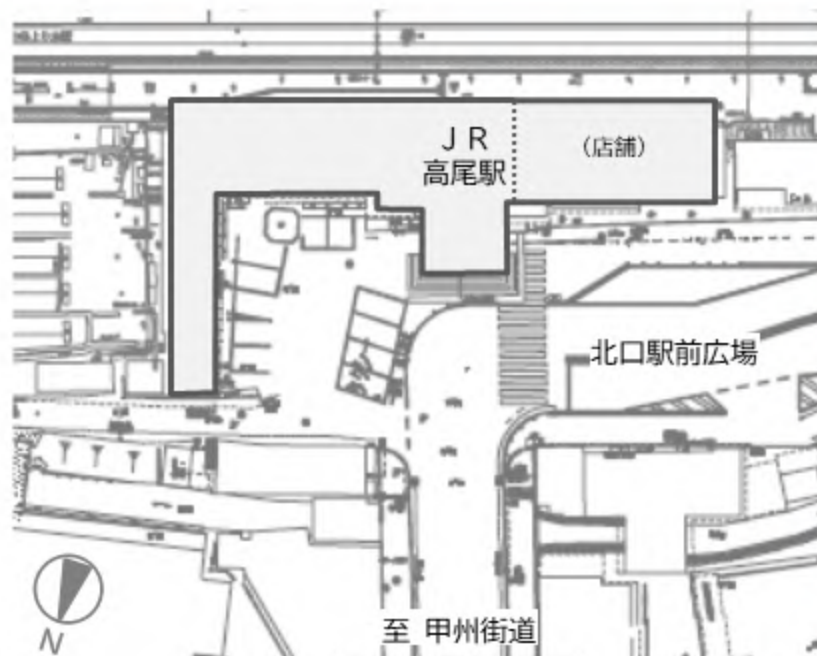
■ 幅員変更について

橋上駅やJR開発店舗の計画が見直され、社会経済情勢の変化や、働き方の多様化でテレワークや時差出勤により駅利用者の状況が変化していることを踏まえ、自由通路の幅員計画を見直しました。今後、都市計画変更の手続きを経て、幅員を6mとする予定です。

変更案においても、当初からの事業目的は達成。  
 ・ 駅の南北分断の解消  
 ・ 交通結節点機能の強化  
 ・ 駅のバリアフリー化

【図中の凡例】  
 EV : エレベーター

## 5. 木造駅舎の再築



現況平面図

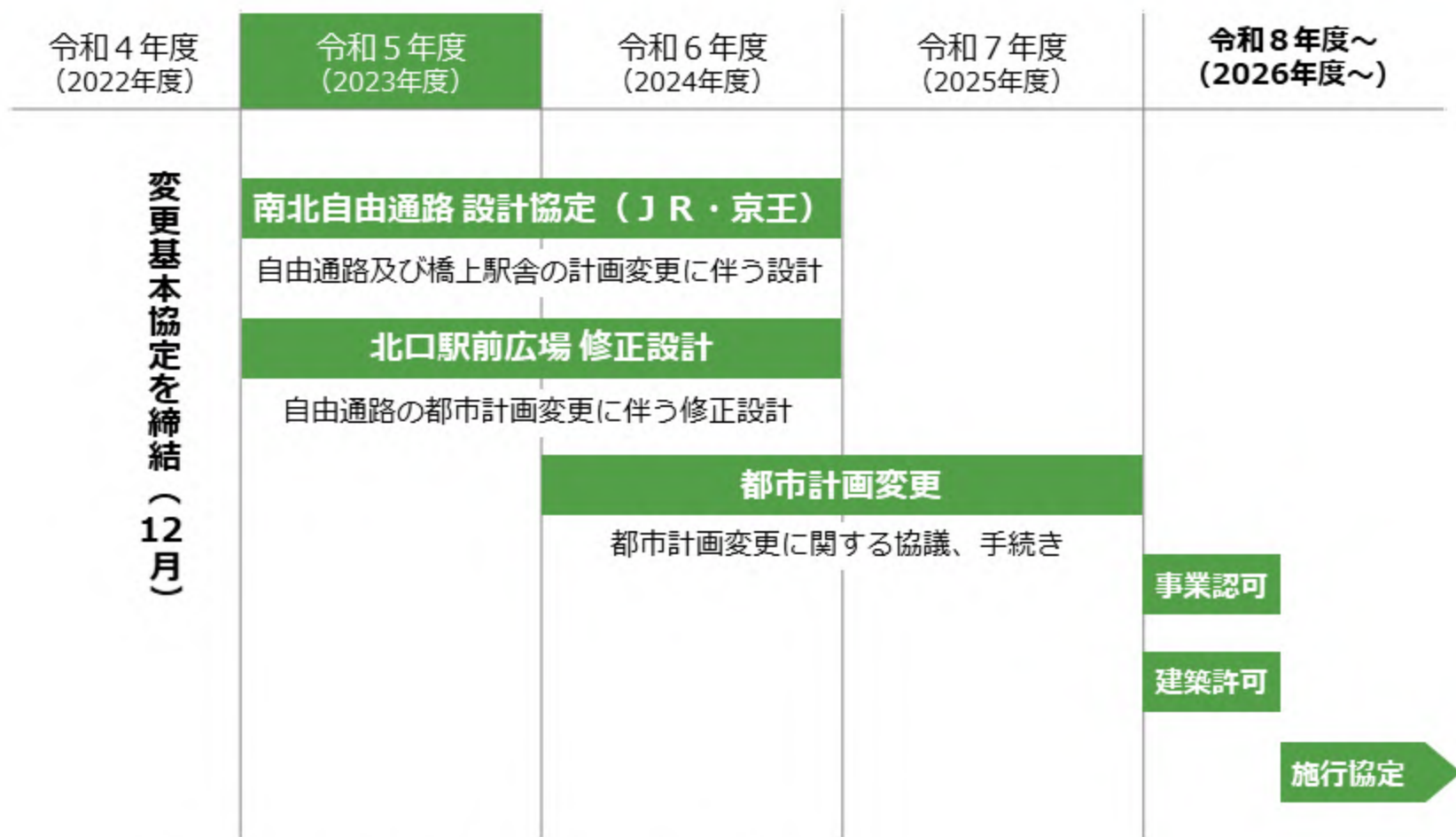


JR高尾駅 木造駅舎正面写真

現木造駅舎は、昭和2年に新宿御苑に造られた大正天皇の大喪用仮停車場を移築したもので、貴重な外観デザインを有した建物です。

自由通路整備により撤去されるため、旧陵南会館跡地に移築する予定でしたが、東日本旅客鉄道株式会社が現駅舎周辺での再築を検討します。

## 6. 今後の予定



※今後の進捗状況により、スケジュールを変更する場合があります。

※北口駅前広場の着工は自由通路整備が完了後。詳細設計は着手の前年に実施予定。